

平成30年度 第2回「帯広市健康生活支援審議会児童育成部会」議事録

日時：平成30年11月13日（火）19時40分～20時40分
場所：市役所10階第5A会議室

会議次第

1 開 会

- (1) 部会長あいさつ
- (2) 委員・専門委員・部会員の紹介

2 議 題

- (1) 副部会長の指名
 - ・おびひろこども未来プランについて
- (2) おびひろこども未来プラン平成29年度進捗状況報告
- (3) 新プラン策定にかかるアンケート調査
- (4) 新プラン策定にかかるスケジュール
 - ・その他の市の取組みについて
- (5) へき地保育所の民間移管に係る公募等
- (6) 保育士確保に関する取組み

3 その他

4 閉 会

配付資料

- 資料1 平成30年度第1回帯広市健康生活支援審議会児童育成部会議事録
- 資料2 おびひろこども未来プラン平成29年度進捗状況報告書
- 資料3 (次期) おびひろこども未来プラン策定にかかるアンケートについて
- 資料4 (次期) おびひろこども未来プラン策定にかかるスケジュール(案)
- 資料5 へき地保育所の民間移管にかかる公募等について
- 資料6 第2回保育士職場復帰セミナーおびひろの開催概要について

出席委員(19名中16名出席)

村上委員、真井委員、成田委員、松田委員、永井委員、山崎専門委員、園部専門委員、宮崎専門委員、鈴木専門委員、羽田野部会員、宮寄部会員、下鳥部会員、南出部会員、福島部会員、中西部会員、吉澤部会員

事務局

広瀬こども未来部長、野澤こども未来部企画調整監、
郡谷こども課長、星野保育担当課長、戸田課長補佐、
村木子育て支援課長、金田課長補佐、今青少年課長、三好児童会館長

平成30年度 第2回「帯広市健康生活支援審議会児童育成部会」議事録
(平成30年11月13日 19:40～20:30)

<p>1. 開 会</p>	<p>(1) 部会長あいさつ → 村上部会長あいさつ (2) 委員・専門委員・部会員の紹介 → 第1回会議を欠席した委員等を紹介</p>
<p>2. 議 事</p> <p>議題(1)</p>	<p>(1) 副部会長の指名 → 村上部会長が真井委員を指名</p>
<p>議題(2)</p> <p>(事務局)</p>	<p>(2) おびひろこども未来プラン平成29年度進捗状況報告</p> <p>(資料2の説明)</p> <p>「おびひろこども未来プラン」では、21の基本施策について毎年度評価を行い、進捗状況を整理することとしている。</p> <p>子ども・子育て支援事業計画の15の確保方策と第六期総合計画の19の成果指標を用いて、目標に対する実績の達成状況や、事業の取組み状況を踏まえ、評価を行っている。</p> <p>今年度は、昨年度と同じく21の基本施策中「A 施策は順調に進んでいる」が15施策、「B 施策はある程度進んでいる」が6施策となっており、評価が変わったところはありません。</p>
<p>議題(3)</p> <p>(事務局)</p>	<p>(3) 新プラン策定にかかるアンケート調査</p> <p>(資料3の説明)</p> <p>現在帯広市では「おびひろこども未来プラン」と「帯広市子ども・子育て支援事業計画」を一本化し、2020年度から計画期間を10年とする「(次期)おびひろこども未来プラン」の策定に取り組んでおり、今年度その基礎資料とするアンケート調査を実施する。</p> <p>対象は就学前までの児童をもつ1,000世帯とし、地区別・年齢別に無作為で抽出している。調査票を各世帯へ11月2日に郵送し、回答期限は11月22日としているが、11月13日の時点で273通の回答が届いている。</p> <p>集計結果の速報については、次回の部会で報告した後、来年1月の帯広市議会へ報告予定。</p>

<p>議題（４）</p> <p>（事務局）</p> <p>（委員）</p> <p>（事務局）</p>	<p>（４）新プラン策定にかかるスケジュール</p> <p>（資料４の説明）</p> <p>今年度は、次回第３回目の会議でアンケート調査結果の集計を報告し、第４回目の会議ではアンケート調査の分析結果や、それを基にした教育及び保育の必要量等について審議いただく予定。</p> <p>来年度は５回程度の審議を予定しており、パブリックコメントを実施し、３月には「（次期）おびひろこども未来プラン」が完成となるスケジュールで進めていく。</p> <p>幼い頃に親からの愛情が不足して育った子どもたちは、中学生や高校生になり色々課題を抱えているように感じる。幼い頃に保育所等に在籍して保育士等が適切に関わることで、その後の成長に大きく影響すると思う。そのあたりの対応も含めて次期計画に取り組んでほしい。</p> <p>子育てに不安のある世帯に対し、今年度から市では「利用者支援事業」に取り組んでいる。妊娠から出産、子育てまで切れ目のない市民に寄り添った支援や相談体制の充実に努めている。</p>
<p>議題（５）</p> <p>（事務局）</p> <p>（部会長）</p> <p>（事務局）</p>	<p>（５）へき地保育所の民間移管に係る公募等</p> <p>（資料５の説明）</p> <p>へき地保育所の認可化及び民間移管にあたり、６所全ての移管を受けるとや、十勝管内で５年以上幼稚園や保育所を運営している社会福祉法人または学校法人であること等を条件に移管先の公募を実施。</p> <p>移管先の決定については、保護者や学識経験者等で構成される選定委員会にて、保育方針や財務状況などの審査を行い、移管先の候補を選定する。選定委員会の選定結果を踏まえ、最終的に市で移管先を決定する。年内には移管先法人を決定する予定。</p> <p>応募条件にある移管後の保育所に勤務する正職保育士の平均勤続年数を７年以上とする意図は何か。</p> <p>移管後の保育所において、保護者が安心して子どもを預けることができるため、一定程度の経験を有する保育士の配置を求めたもの。これまでの民間移管においても同様な条件としてきている。</p>

<p>議題（６）</p>	<p>（６）保育士確保に関する取組み</p>
<p>（事務局）</p>	<p>（資料６の説明）</p> <p>昨年に引き続き第２回目となる保育士職場復帰セミナーを１１月７日に開催したところ、１１名の参加があった。保育所長や保健師等による保育所の一日の流れや感染症に関する講義の後、市内の保育施設事業者による合同職場説明会が行われ、参加者は積極的にブースを回り、事業者の話を熱心に聞いている様子が伺えた。今年は保育所や認定こども園に加えて、児童保育センターの方にも協力いただいた。また、子育て中の方も多く参加しており、参加者からは事業者の話を聞いて、育児をしながらの就労に対する不安が軽くなったとの声も多く聞かれた。</p> <p>昨年度は１６名の参加者の内９名が就労へつながっており、今年度も多くの方が保育士として職場へ復帰してほしいと願うもの。</p>
<p>（部会長）</p>	<p>今回初めて参加した児童保育センター関係者としては、セミナーはどんな印象か。</p>
<p>（委員）</p>	<p>児童保育センターの仕事や職場環境を説明する機会が少なく、養成校にも専攻科がないことから、保育所とは異なり、採用されて勤めてみて、初めて現場を知ることになることが多い。今回のセミナーに参加できて、現場の話を伝えることができ大変良い機会となった。今後是非参加したい。</p>
<p>（委員）</p>	<p>保育士資格はどのように取得できるのか。</p>
<p>（事務局）</p>	<p>十勝近郊では養成校である帯広大谷短期大学の保育科を専攻し、修了時に保育士資格の取得が可能。このほか、働きながら通信教育等を活用し、国家試験を受験することもできる。</p>
<p>３．その他</p> <p>（部会長）</p>	<p>委員の皆さんから何か報告等あるか。</p>
<p>（委員）</p>	<p>１１月は児童虐待防止月間であり、その取組みの一つとして児童相談所主催の児童虐待防止講演会を１１月２５日に帯広市民文化ホールで開催するので、是非参加いただきたい。</p>

<p>(委員)</p>	<p>学校歯科保健では、暴力により歯が欠損する、あざがある、親が子どもの歯の治療を放置、あるいは最後まで受けさせない等がみられた場合は、虐待の恐れがあると言われるが、そのようなケースを見かけた場合、どの程度で通報してよいか迷う。</p>
<p>(委員)</p>	<p>緊急性が高いと判断した場合は当然通報するのが望ましい。お話しにあった歯の治療が途中となったことだけで、すぐに虐待として児童相談所が措置対応となると、保護者の理解は得られにくい。日常的なことについては、児童にとって身近な学校や保育所へ相談し、治療を促すなどの対応が望ましいと考える。</p>
<p>(委員)</p>	<p>学校現場では、支援が必要な家庭の児童や保護者からは直接得られない情報を児童相談所や帯広市から、ケース会議等を通じて得られることがある。学校現場は、支援が必要な家庭に最も密接に関わることができる立場と理解しており、そのために情報の共有は大切だと常に感じている。</p>
<p>(副部長)</p>	<p>帯広市も虐待に対応するネットワークがあり、頑張っているが、ここで皆さんに説明してはどうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>帯広市には学校や児童相談所等で組織する「帯広市要保護対策地域協議会」があり、個別のケース検討会議も平成29年度で77回開催している。この会議については、虐待だけではなく養育に関するものも含まれる。このほか、発達や子育てに関する相談窓口もあるので、何かあれば子育て支援課へ連絡がほしい。</p>
<p>(副部長)</p>	<p>児童相談所と帯広市のどちらに相談すべきか判断基準はあるか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>措置対応が必要な緊急性のあるケースは児童相談所、関係機関で情報共有が必要なケースは帯広市となると理解しているがいかか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>通報する市民が、案件ごとに通報先を判断することは難しいと思う。まずは児童相談所でも帯広市でもかまわないので連絡いただければ、緊急度や重要度を考慮し適切に対応していく。</p>
<p>(委員)</p>	<p>帯広市から虐待対応マニュアルが各保育施設等に提供されている。それに従い対応しているので、参考になると思う。</p>

<p>(事務局)</p>	<p>次回の会議で情報提供したい。</p>
<p>(部会長)</p>	<p>事務局から何か連絡事項あるか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>11月15日(木)と17日(土)に市長が参加する地区懇談会が開催される。テーマは「健康づくり」と昨年に引き続き「子育て」となっている。是非参加いただきたい。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>次回の部会は、アンケート調査の集計結果を報告予定のため、1月上旬に開催予定。</p>
<p>4. 閉会</p>	